

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### 地方選挙に向けた動き

・16日、キシナウ市長候補のブリガ労働社会保障家族相(民主党)は、地方選挙に向けた選挙運動が政治利用されており、国民が直面している問題解決に向けた議論が行われていない旨指摘。

・17日、ドドン前第一副首相兼経済・貿易相(共産党)は、キシナウ市長選挙は政争に用いられるべきでなく、現実問題の解決に向けた建設的対話が必要である旨発言。これに対し、キルトアケ現市長(自由党)は、ソ連共産党の後継政党の代表者による発言は信用に値しない旨発言。

#### 大統領代行の動き

・17日、ルプ大統領代行は、タナセ前法務大臣を憲法裁判所判事に正式に任命する大統領令を発出。

・19日、ルプ大統領代行は、同大統領代行を委員長、エフリム法務相及びブラホドニク議会第一副議長を副委員長とする法制度改革国家委員会の設立に関する大統領令を発出。これに対し、フィラト首相は、AIE内の協議を経ずした同委員会設立は驚きであるとし、設立の必要性に疑問を提起。

#### その他

・19日、共産党議員は、同党発議の法案審議拒否に対する抗議表明として議会を退席。ペトレンコ共産党議員は、議会では半年に亘って一度も共産党発議による議題が審議されていない旨AIEを非難。

・19日、ルプ大統領代行は、政治的に中立な大統領候補擁立は政治危機克服のための抜本的解決とはならないとし、大統領選出の準備が整わない限り大統領選挙は行わない旨発言。同日、ゴージャ元自由民主党第一副党首は、各政党及び政治家個人の利害が放棄されない限り、大統領選出は不可能である旨発言。

### 2. 経済

#### 財政

・17日、スルサリ農業・食品産業雇用者協会会長は、2012年より政府が導入を検討している中小企業共通税(年商の4%)は各企業の経費を考慮しておらず、経済界の反発を招くものである旨発言。

#### 対モルドバ支援

・17日、世銀は、2008年に開始されたモルドバに対するパートナーシップ戦略を2013年まで延長、今後2年にわたり年5,000万ドルの支援を決定。

・17日、スウェーデンは、2011～2014年にかけて政府の透明性向上等を目的とした計5,200万ユーロの供与を決

定。

#### その他

・16日、ウクライナは、プラスチック・ボトル、テトラパックのリサイクルのための輸入環境税に関し、モルドバをWTOに提訴。

・17日、国家エネルギー規制庁は、ガソリン及びディーゼル燃料の2011年第1四半期の小売価格は平均で各々18.8%及び21.5%、液化天然ガスについては同17.3%上昇した旨発表。

・17日、ポパ経済省次官は、バイオマスからの再生可能エネルギーの生成量を今後4年で大幅に増加させ、2020年には同割合を20%に増加させる当座の予算として1,450万ユーロ以上を予定と発言。

・18日、露ガスプロムは、2011年第1四半期のモルドバ向け天然ガス価格は、1,000立方メートルあたり、288.71ドルと発表。

### 3. 外政

▼16～17日、レアンカ外務・欧州統合相のチェコ訪問

・17日、レアンカ外務・欧州統合相は、シュワルツェンベルグ・チェコ外相と会談、モルドバの欧州統合プロセスに対するチェコの支援を中心とした二国間関係、モルドバ・EU関係、沿ドニエストル問題等につき協議。

▼17～20日、フィラト首相の訪独

・19日、フィラト首相は、メルケル独首相と会談、二国間関係、モルドバの欧州統合プロセス、欧州近隣政策、沿ドニエストル問題等につき協議。

・19日、フィラト首相は、フリードリッヒ独内相と会談、EU査証廃止及び内務省改革を中心としたモルドバの欧州統合等につき協議。双方は、両国内務省間協力に関する合意に署名することで合意。

▼その他

・16日、レアンカ外務・欧州統合相は、EU査証の廃止が2012年末までに達成される見込みと発言。

・19日、ドドン前第一副首相兼経済・貿易相は、ライチャーク欧州対外活動庁(EEAS)欧州・中央アジア局長と会談、モルドバ経済のEUとの統合、モルドバの国内情勢等につき協議。

### 4. 沿ドニエストル

・15日、カミンスキー沿ドニエストル「議会議長」(「革新」党党首)は、「革新」党が同党大会において独自の「大統領」選挙候補者を擁立する方針を決定した旨発言。

・16日、デニセンコ沿ドニエストル「中央選挙管理委員会委員長」は、地方選挙における沿ドニエストル領内のコルジョバ村の投票所開設には「首脳」同士の合意が必要である旨発言。これに対し、17日、中央選挙管理委員会は、同意見とは無関係にコルジョバ村には投票所を開設する旨表明。

・18日、バコンスキ・ルーマニア外相は、グリシチェンコ・ウクライナ外相との会談について、両国は沿ドニエストル問題において政策をより明確に調整することで合意した旨発言。

・19日、メルケル独首相は、フィラト首相との会談において、全ての関係者の参加を得て6月に「5 + 2」者交渉が再開することを大変嬉しく思うと発言。

## 5 . 防衛

18 ~ 20日、マリヌタ国防相のリトアニア・ラトビア訪問

・18日、マリヌタ国防相は、リトアニアを訪問、防衛分野における協力に関する協定に署名。

・19日、マリヌタ国防相は、ラトビアを訪問、パブリクス国防相と両国間の軍事協力等につき議論した他、クリストウスキス外相等と会談。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。  
(了)